



うりゅう

みんなには 議会であ

発行／雨竜町議会 編集／議会広報広聴特別委員会



(7/12 雨竜沼湿原の様子)



- 定例会の審議結果 P2～4
- 一般質問 2名の議員が質問 P5～6
- 中学3年生が議会傍聴 P7
- 行政常任委員会所管事務調査報告 P8
- 議員研修報告 及び 議員とカフェ報告 P9

令和6年 第2回定例会

(開催日程：令和6年6月20日)

審 議 結 果

議案番号	議 件 名	結 果				
第20号	専決処分した事件の承認について 「令和5年度雨竜町一般会計補正予算（第9号）」 (2,263万2千円を追加し、総額42億1,947万6千円とする)	承認				
	(歳出の主な内容)					
	<table border="1"> <tr> <td>総 務 費</td> <td>ふれあいセンター関係工事</td> <td>△27,600,000円</td> </tr> <tr> <td>総 務 費</td> <td>減債基金積立金</td> <td>50,000,000円</td> </tr> </table>		総 務 費	ふれあいセンター関係工事	△27,600,000円	総 務 費
総 務 費	ふれあいセンター関係工事	△27,600,000円				
総 務 費	減債基金積立金	50,000,000円				
第21号	専決処分した事件の承認について 「令和5年度雨竜町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」 (23万2千円を追加し、総額4,640万6千円とする)	承認				
第22号	専決処分した事件の承認について 「雨竜町税条例の一部を改正する条例の制定について」 (地方税法等の改正に伴い、雨竜町税条例の一部を改正するもの)	承認				
第23号	専決処分した事件の承認について 「雨竜町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」 (個人番号の独自利用に伴い、雨竜町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正するもの)	承認				
第24号	専決処分した事件の承認について 「雨竜町乳幼児、児童及び生徒医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」 (個人番号の独自利用に伴い、雨竜町乳幼児、児童及び生徒医療費の助成に関する条例の一部を改正するもの)	承認				
第25号	令和6年度農業集落排水施設整備事業満寿地区機器類整備工事の請負契約について 1. 契約の目的 令和6年度農業集落排水施設整備事業満寿地区機器類整備工事 2. 契約の方法 随意契約 3. 契約金額 1億3,310万円 4. 契約の相手方 東京都豊島区南池袋1丁目11番22号 株式会社 クリタス 代表取締役 鎌田 裕久	原案可決				

議案番号	議 件 名	結 果	
第26号	令和6年度雨竜町一般会計補正予算（第1号） （4,572万2千円を追加し、総額39億8,403万2千円とする）	原案可決	
	（歳出の主な内容）		
	総務費		会計年度任用職員給料の増 1,848,000円
	総務費		低所得者支援・定額減税補足給付金 23,000,000円
	衛生費		新型コロナワクチン予防接種費用助成金 7,468,000円
	農林水産業費		農地利用効率化等支援交付金 4,079,000円
教育費	学校修繕費 1,352,000円		
第27号	雨竜町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について （家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの）	原案可決	
第28号	雨竜町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について （特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの）	原案可決	
第29号	雨竜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について （放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの）	原案可決	
第30号	雨竜町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について （地方税法施行令の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの）	原案可決	
第31号	雨竜町新規就農者育成に関する条例の一部を改正する条例の制定について （農業経営基盤強化促進法等の改正に伴い、助成内容を改めるもの）	原案可決	
第32号	字の区域の変更について （国営緊急農地再編整備事業雨竜暑寒地区雄飛新生工区の換地処分に伴い、事業施工区域内にある2つの字地番区域の一部について、字の区域の変更を行うもの～全101筆）	原案可決	
第33号	北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について （行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律によるマイナンバーカードと被保険者証一体化に伴い、本規約を変更するもの）	原案可決	

議案番号	議 件 名	結 果
選 挙 第1号	雨竜町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について (敬称略) <選挙管理委員> 岡本 博光、藤田 直、稲見 育子、鷲尾 隆人 <補充員の順序> 1番 照井 勝、2番 村本 由美子、3番 藤江 準也、4番 宮崎 香利	指名推薦により可決
報 告 第1号	令和5年度雨竜町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越した経費の報告について	報 告 済
報 告 第2号	雨竜町土地開発公社の業務報告について	報 告 済
報 告 第3号	株式会社雨竜町振興公社の業務報告について	報 告 済
第34号	雨竜町ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について (雨竜町ふれあいセンターの施設改修に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決

意 見 書

第2回定例会で議員から提案された次の意見書について審議の結果、原案のとおり可決され、関係行政庁に郵送により提出しました。

生涯を通じた歯科健診の実現を求める意見書

現在、我が国では、40歳、50歳、60歳、70歳の者に対する健康増進法に基づく歯周疾患検診や、後期高齢者歯科健診などは、義務づけがされておらず、成人期以降の受診体制は十分とは言えない状況にある。よって、国においては、生涯を通じた歯科健診（いわゆる国民皆歯科健診）の法制化を早急に進めるとともに、歯科健診の実施に関しては、十分な財政措置を講ずるよう強く要望する。

〈提出先〉衆・参議院議長、内閣総理大臣、各関係大臣

ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

本道の森林を将来の世代に引き継ぎ、環境への負荷の少ない循環型社会を形成するため、活力ある森林づくりや道産木材の利用、防災・減災対策を一層進め、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を図ることを強く要望する。

〈提出先〉衆・参議院議長、内閣総理大臣、各関係大臣

厳しい農業情勢を打開する改正基本法と関連法案を求める意見書

改正基本法で掲げる食料安全保障の確保が果たされるよう、国内の農業生産の増大を基本に、生産基盤の維持・強化、担い手の育成確保などの予算を拡充すること。

また、国民への理解醸成を前提とした適正な価格形成については、生産コスト上昇分を一方的に消費者に負担させるのではなく、国も一定程度負担を担い、生産費等が反映できるよう法制化を進めることを要望する。

〈提出先〉内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

令和6年第2回定例会一般質問

6月20日に2名の議員が町政執行

に対し、一般質問をしました

前号より、内容を

一部要約しております



吉見議員

問 修学旅行費支援の拡充を

答 支援の拡充はまちづくり全般に関わることであるため、今後町長部局とも情報を共有し、進めていきたい

質問

本町では保護者の負担軽減のため、修学旅行費の支援事業を平成28年より行っているところであり、この事業では、上限額を設けた中で修学旅行費のおおむね4割程度を助成することとしていますが、事業を開始し9年が経過した中で当時とは違い、社会情勢の変化により旅費自体も増額している傾向にあり、保護者の負担も大きくなっています。今後も旅費が増えていく中で事

業の見直しを考える必要があると考えますが、教育長の考えを伺います。

教育長

助成事業については、現在本町では町立学校の児童生徒に対して修学旅行費のおおむね4割の助成を行っています。小学生で1万円、中学生で2万5千円を限度としているところですが、中学生の修学旅行を例にしますと、その時の社会情勢により道南や東北地方、関東方面と行先を変更した経緯はありますが、令和5年以降は関東方面へと変わっております。

教育委員会としては、極力経費を抑えた中で修学旅行を持続させたいと考えております。児童生徒数の減少が1人当たりの単価を上げる要因の一つにも考えられることから、今後は他校との一部連携が可能か否かなど様々な選択肢を本町の学校と検討し、模索してまいります。

再質問

経費を削減しながら検討して修学旅行を維持していくということには理解しましたが、物価高騰などによる保護者への負担が増えることにおいては、時代に合った支援の拡充や見直しが必要と考えます。現在設けている限度額の見直しや、限度額自体をなくす必要もあると考えます。

今後も修学旅行費が増大する中で、保護者の負担を軽減するためにも支援の拡充をする必要があると考えますが、再度教育長に伺います。

教育長

交付金制度設立の当時とは大きく社会情勢も様変わりをしていることは認識しております。本町では修学旅行費助成を含め他の教育関係費用に関わる保護者負担等についていろいろと議論を交わした経過もございます。これらの事業の見直しにつきましては、まちづくり全般に関わることであります。今後町長部局とも情報を共有し、進めていきたいと考えております。

再々質問

修学旅行費に係る経費負担増については保護者負担も大きく、喫緊の課題でもあり、優先されるものの一つと考えますので、まちづくりの全般を担う町長ともぜひ十分協議していただき、早期の助成拡充を取り進めていただきたいと考えます。

教育長

今後も修学旅行費につきましては極力経費の節減を模索しながら進めてまいりたいと考えております。また、併せて修学旅行費用保護者負担額の軽減については町長部局と情報を共有し、進めていきたいと考えております。





佐々木議員

問 部活動の地域移行について

答 時代の変化を踏まえた中で協議を進め、北空知圏各市町と歩調を合わせながら取り組んでまいりたい

質問

現在、国では学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドラインを策定し、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として、休日の部活動から段階的に地域移行を進めることとしています。市町村においては、教育委員会等が中心となって部活動の地域移行の仕組みを作っていくこととなりますが、本町の考え方はどうなのか教育長に伺います。

教育長

現在、本町においても、少子化による単独校でのチーム編成がでない部活動がある状況で、また、職員の働き方改革などの問題も相まって、現在教育行政圏域である

北空知圏域1市5町がこれらを共通の課題として捉え、北空知圏の振興協議会教育部会で地域移行に向けた取り組みを行うこととしております。

再質問

北空知の教育部会での問題に取り組むとのことでしたが、少子化や教職員の働き方の問題だけではなく、保護者のニーズや地域での受け皿も多様化し、対応出来るもの、出来ないもの、色々あると思います。その取り組み内容はどうなるのか再度伺います。

教育長

北空知の教育部会では、この問題に取り組むにあたり中学生及び保護者、教職員や小学3年生以上の児童及びその保護者に対してアンケート調査を実施し、今後は市町村ごとに立ち上げる部活動の地域移行推進協議会で、検討、協議を進めることとしております。

再々質問

北空知の各中学校では、雨竜の部活動に無いものも多くあると思われ。責任感や連帯感を養い、人間関係の構築を図るなど、部活動の意義なども充分考慮し、あらゆる可能性を探りながら今後検討していただきたいと思えます。

教育長

部活動に対するニーズも多様化していることは理解しております。各市町単独での部活動継続が困難になってきている現状であり、教育委員会といたしましては、学校を含めた地域全体で多様なスポーツ、文化芸術活動の体験機会を確保することが必要であると考えております。時代の変化を踏まえた中で本町の推進協議会において部活動の在り方等の協議を進め、北空知圏各市町と歩調を合わせながら取り組んでまいりたいと思えます。



(中学3年生の傍聴の様子～寄せられた感想は7ページに掲載)

中学3年生が傍聴に来てくれました！

6月20日開催の第2回定例会を雨竜中学校3年生の生徒の皆さんが、社会科の授業の一環として傍聴されました。皆さんからの感想をご紹介します。

- たくさん質問して、たくさん意見出してすごかったです。教育活動に様々な話し合いをしているんだなと思いました。
- 資料を配って説明しているのが多いと思いました。質問の時は、相手が座ったのを見てから発言するんだなと思った。ふるさと納税が減っているのかと驚きました。
- いろんな質問などがありました。難しそうな質問をしていました。ちゃんと考えて質問していると思いました。
- あまり議事に普段ふれることがないし、初めてだったけど難しい話が多いと思いました。部活動のことなどを議会で伝えてくれるのはうれしいです。
- 提案や質問・意見を詳しく述べていたので、その意図が想像しやすかったです。
- 生徒大会とは違い、雰囲気がありました。部活動のこと、修学旅行のこと、自分たちの身近なことについて話していて良くなったらいいなと思いました。
- 何を話すにも議長の指名が必要で、形式が厳格でした。子ども模擬議会でもこんな感じなのかなと思いました。
- すごく最近のことを話していました。児童・生徒のためによく考えてくれて、うれしかったです。
- 少し聞いていて難しいと思ったけど、議会のおかげで雨竜町があると思うとすごいと思いました。
- 基本的に難しいことではあったが、自分たちでも分かることがありました。小学校・中学校のことなども言っていました。
- すごく本格的で面白かったです。時間があっという間に過ぎました。議会の大変さについて分かりました。子ども模擬議会にも生かしたいです。
- 難しい話をしていたけど、雨竜中学校の話もしていました。知っている議員さんもいて、議会を身近に感じました。
- 一つ一つの質問に対して、答えやその答えに対する質問や意見がたくさん出されていて、町のいろいろなところまでしっかり見て考えてくれているのだなと思いました。
- 何回も審議して、欲しい回答を得るまでしていました。難しい内容でしたが、具体例を挙げて説明していて、すごいと思いました。
- 「異議なし」とか言っていてすごかったです。報告することもたくさんあって大変だなと思いました。質問の時に、その質問の内容を返してもらった後の返答を考えるのが難しそうだなと思いました。
- お互いが納得するまで再質問を繰り返していました。過去の結果を基に話し合っていました。助成金の件は、これから行く人たちが楽になるのでいいなと思いました。
- ふるさと納税のことや雷でポンプに不具合が起きていたことも報告されていました。テンポが良かったです。難しかったけど、子ども模擬議会頑張ります。

行政常任委員会報告

令和6年第2回定例会までの閉会中に行った所管事務調査の内容を報告いたします。

期 日：令和6年6月4日（火）・5日（水）

<調査事項> 学校法人田中学園との連携事業について（教育委員会所管）

本町と学校法人田中学園とは、令和3年に包括的連携協定を締結し、令和4年より協定に係る相互連携事業「雨竜町・田中学園こども未来プロジェクト」による相互交流が行われて、本年度で3年目となる。

「雨竜町・田中学園こども未来プロジェクト」では、田中学園からの授業用オリジナルコンテンツの提供、田中学園地域交流担当教員が雨竜小学校へ定期的に派遣され行うイメージ教育の実践、双方児童の交流が行われているほか、雨竜町の地域資源を活用した学習活動や田中学園の給食における「うりゅう米」を採用した食育活動を進めている。

児童数が年々減少している小規模校の本町の子どもたちにとって、多くの子どもたちが在籍する田中学園との交流は大変貴重な機会であるとともに、本校で進めているイメージ教育による英語を使用した他の教科を学ぶ教育方法は、子どもたちの外国語への興味を高めるとともに、環境や文化に触れながら英語が自然に身につくことが期待される。

また、田中学園の子どもたちとの本町での交流は、田植え体験や稲刈り体験といった本町の基幹産業である農業への理解に繋がるとともに、農業を体験したことのない子どもたちに、すでに体験している本町の子どもたちが、交流を通して相手に伝え教える力を発揮する大変有意義な経験となっている。

今後も連携協定に基づき、これまで同様相互交流を行い、本町の子どもたちがさらに主体的に活動できる事業内容を検討し、子どもたちがこれからも生き生きと充実した学校生活を送れるよう取り図られたい。



雨竜小学校・田中学園児童田植え体験及び交流の様子



イメージ教育
(英語による体育の授業) 実践の様子

<現地調査>

林道奥川上線（崩落現場）、町営プール（破損箇所確認）、桂の沢町有林作業道、町道牧岡8号線（修復計画・現状確認）を行いました。



林道奥川上線 崩落現場



町営プール 破損箇所確認



牧岡8号線 現状確認

議員研修会

7月2日開催 「北海道町村議会議員研修会」

(会場：札幌コンベンションセンター)

- ・講師：気象予報士 ^{もり あきら} 森 朗 氏
- ・演題：「札幌が東京より暑くなる！？～加速する気候変動～」
現在、TBS気象キャスターとして活躍されている気象予報士の森氏からの講演は、過去の気象データや真夏日の年間日数の比較等により、近年の北海道の気温上昇や全国的な気候変動を改めて実感するものでした。



- ・講師：元衆議院議長（第76代・第77代）^{おおしま ただもり} 大島 理森 氏
- ・演題：「人口減少と市町村の重要性・民主主義について
自省を含めての所感」
青森県議2期を経て、1983年より約40年間衆議院議員を務め、ほとんどを国会運営の担い手として過ごした大島氏ですが、自身が携わった湾岸戦争・PKO法案、そして天皇陛下の生前退位の裏話など、演目以外の話題でユーモアあふれる講演でした。



7月10日開催 「空知町村議会議長会 議員研修会」

(会場：上砂川町 町民センター)

- ・講師：総務省統計局 統計利用推進研究官 ^{ながふじ ひろあき} 長藤 洋明 氏
- ・演題：「地方議会におけるEBPM（※）の推進について」
政策達成のためデータ等を活用し、信頼される行政を展開していくことが必要であるという内容でした。



※EBPM（Evidence Based Policy Making）～根拠に基づく政策立案

🍷 議員とカフェ 🍷

令和6年6月12日に開催した「議員とカフェ」で次のようなご意見をいただきました

- ・パークゴルフ利用者が少ない。町民利用促進のため、料金の見直しなど検討が必要では
- ・神楽保存会の演舞で使用する衣装が30年経っており更新できないのか
- ・LED街灯の寿命を延ばすため、定期点検を実施した方がよいのでは
- ・公用車の軽乗用車化を進めていくべき
- ・壊れているガードロープの補修をしてほしい
- ・放課後デイサービスの受付などの対応を役場が窓口となって出来ないか

おもな議会のうごき (5月～7月)

5 月

- 7日 奈井江町役場新庁舎開庁式
議 長
- 10日 中空知町議会議長連絡協議会
定期総会(上砂川町) 議 長
- 15日 JAきたそらち雨竜支所
籾仮置庫新設工事起工式
議 長他
- 29日 行政常任委員会協議会

6 月

- 3日 雨竜町観光協会総会 議 長
- 4・5日 行政常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 11日 北海道町村議会議長会定期総会
及び研修会(札幌市) 議 長
- 12日 議会広報広聴特別委員会
「議員とカフェ」
- 16日 戦没者追悼式 議 長
- 19日 雨竜消防団消防演習 全議員
- 20日 第2回定例会

- 23日 陸上自衛隊旭川駐屯地
創立記念式典(旭川市) 議 長
- 24日 雨竜沼湿原・南暑寒岳登山
安全祈願祭 議 長
- 30日 空知地方支部中空知分会
連合消防演習(芦別市) 議 長

7 月

- 2日 北海道町村議会議長会主催
議員研修会(札幌市) 全議員
- 10日 空知町村議会議長会主催
議員研修会(上砂川町)
副議長他
- 11日 議会広報広聴特別委員会
- 17日 国営緊急農地再編整備事業雨竜
暑寒地区促進期成会総会
副議長他
- 18・24日 議会広報広聴特別委員会
- 26日 議会広報広聴特別委員会

よしもとのコラム

現在、昨年の猛暑で米の収穫量が1割ほど減り、またインバウンド需要が増えたことで全国的な米不足となり、米の価格が上がっています。

今年も、地球温暖化の影響なのか本州では猛暑と豪雨が起きており、北海道もこれから猛暑が予想され、稲作農家としては品質の低下が心配される場所です。私が就農した頃は、北海道では冷害を心配しながら稲作栽培をしていたものですが、今は高温対策を考えた栽培となっており、こんなことになるとは当時は考えもつきませんでした。

しかし、昔も今も自然を相手とする稲作経営は大変です。おまけに生産資材の高騰などが重なりさらに厳しい状況ですが、いまの小売価格の上昇が秋の生産者米価に繋がることを切に願っています。

今年も災害のない豊穡の秋を迎えられることを心からお祈りします。

議会の傍聴を

お待ちしております!

定例会は年4回、臨時会については必要に応じて開かれます。

次回の定例会は9月に開催を予定しています。

事前のお申込みは不要です。是非お気軽にお越しください。

議会広報広聴特別委員会

委員長	佐々木	徹
副委員長	沖田	浩一
副委員長	吉見	拓也
委員	野村	耕次郎
委員	吉本	周治
委員	木村	啓治